

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルート2号店			
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)	16人
○従業者評価実施期間	令和8年2月23日		～	令和7年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活能力・社会性・自主性を育てる総合支援を行っています。	学習支援・遊び・コミュニケーション・社会交流を組み合わせた総合療育を行っています。放課後という限られた時間の中で、子どもたちが自らやるべきことをやる力(自主性)や、何をしようか、自ら考えてやる(主体性)を徹底して、支援に取り入れています。	春休みや夏休みなどは、社会交流をふんだんにカリキュラムの中に取り入れ、たくさんの経験・体験の中から学ぶ環境を更に充実させていきたいと思っています。
2	保護者様とのつながりや、デイでの子供たちの様子が伝わるように、様々なツールを活用して発信しています。	LINEやInstagram、ホームページや日々の連絡帳のHUGなど、様々なツールを使い、デイの様子が保護者様に伝わるように、発信を行っています。また、保護者様の要望や相談などにも臨機応変に対応できるよう工夫しています。	発信をもっと保護者様に知ってもらえるような取り組みを行っていききたいと思います。
3	室内で運動できるスペースがある。	雨天などが続いて外出などができない際にも、ボルダリングや風船バレーなどができるスペースがあります。室内で運動をする時は、必ず職員が複数人ついて、ケガや事故につながるような壁や物を極力排除し、子どもたちが安全に楽しく遊ぶことができるように留意し業務にあたっています。	テンションが高くなりすぎてくる前に、クールダウンする時間を設けたり、子どもたちが楽しく安全に過ごせるように環境整備を徹底していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の対応	災害時の対応について、保護者様ひとりひとりとゆっくり話しあいをする時間が取れていなかった。	今後、保護者さまとの面談の際などに話し合う機会を作り、保護者さまの意向や考え、ご意見をいただきながら、会社のBCPにも反映させていきたいと思っています。
2	家族への支援が少ない	きょうだい児への支援や保護者会などの家族への支援が開催できていない。	今後は、保護者さまやそのきょうだい等との交流の機会を積極的に設けていこうにしたいと思います。
3			